

令和6年度 第38回 東海高等学校バスケットボール新人大会

男子準決勝

試合日:2025年2月16日(日)
会場:四日市市総合体育館
コート:A2
開始時間:11:40~

Team A		Team B
高山西 (岐阜)	59	富田 (岐阜) 53
	24 - 12	
	7 - 12	
	14 - 12	
	14 - 17	
	OT	

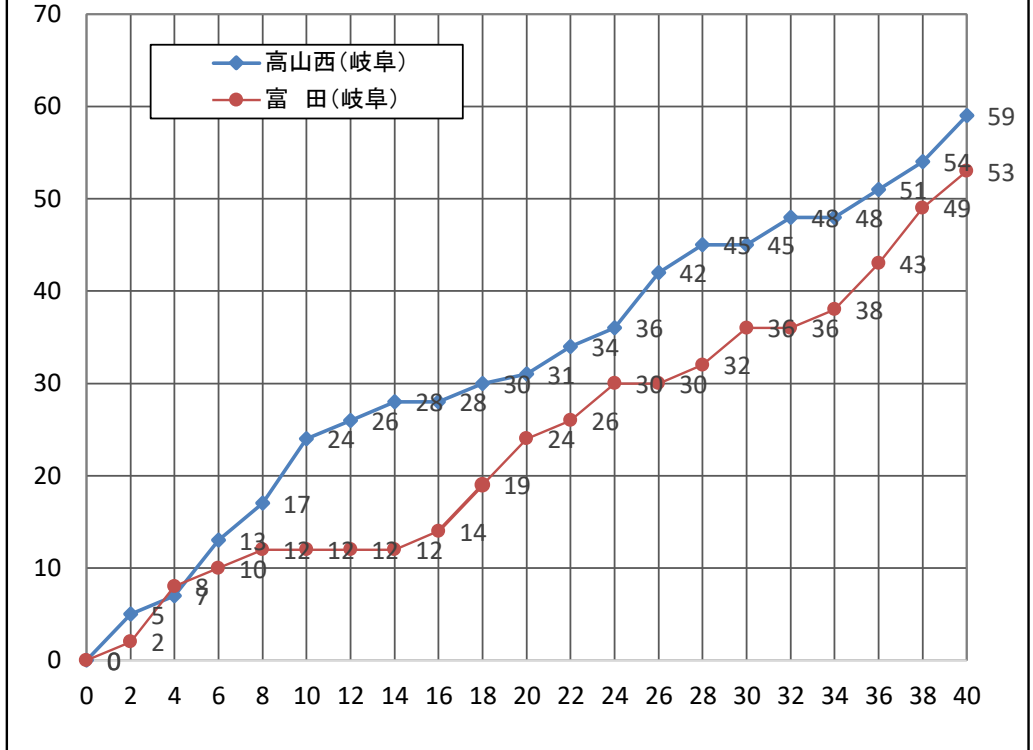
Team A: 高山西(岐阜)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
1		鈴木 悠矢													
4		高岡 巧													
5		大越 正一郎	0				1								
8*		板倉 瑠都	6	2			2								
9*		垣内 大和	8	2	1		3								
10		野原 大誠	11	3	1		1								
11*		伊藤 稀広	7		2	3	3								
23*		オカブ チネドウ	18		9		1								
27*		佐伯 悠良	3		1	1									
29		都竹 奏太郎													
33		木村 廉													
34		柘田 爽良													
41		小池 凜汰朗													
49		大窪 優誠	6	2			1								
55		仲間 結海													
Team/Coach:															
合計			59	9	14	4	12	0	0	0	0	0	0	0	0

Team B: 富田(岐阜)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4		遠藤 慎太													
5*		阪 晃成	12	1	4	1	3								
6		小川 諒真	0				1								
7*		川崎 絆成	10		5										
8*		関川 唯大	13	1	5		1								
9		後藤 一馬													
10*		アブドゥルガニョ アブドゥルガニョ	12		5	2	3								
11		渡邊 煌也													
12		三品 琉生													
13*		廣井 颯大	6		2	2									
14		西村 琉音													
15		前田 匠太郎													
16		関 保之助													
17		服部 椿													
Team/Coach:															
合計			53	2	21	5	8	0	0	0	0	0	0	0	0

2分ごとの得点推移



【戦評】

記入者 河原 英幸

1Q、高山西はマンツーマン、富田は2-3ゾーンからスタート。高山西はアウトサイドを中心に、ドライブを織り交ぜ良いリズムでOFを展開。対する富田は#10を中心に応戦。中盤、高山西はDFから攻勢を強め連続速攻。13-8に点差を広げる。またも、高山西は#23のダンク、バスケットカウントなど5連続得点。24-12高山西リードで1Q終了。

2Q、両チームともミスが続き得点が伸びず、6分間で互いに4得点と一進一退の攻防。終盤、均衡を破ったのは富田#8の3P。この得点をきっかけに、一気に点差を縮め残り50秒30-24。高山西もFTで得点を返し、31-24高山西リードで2Q終了。

3Q、序盤は互いに点を取り合う展開。中盤高山西が#49#10#49の連続3Pで点差を広げる。たまたま富田はTO。その後、富田は#7#10の連続得点、#10のダンクが決まるも45-36高山西が点差を広げる形で4Qへ。

4Q、高山西が3Pで先制するも、その後得点が続かない我慢の時間。一方、富田はゾーンDFからリズムを掴み速攻など得点を重ね最大3点差まで詰める手に汗握る展開へ。しかし、高山西も大事な場面で3Pを沈め逆転を許さず、最後は51-47で高山西が逃げ切り決勝へと駒を進めた。

CC 横井 泰人

U1 佐藤 寛太

U2 片山 誠太

令和6年度 第38回 東海高等学校バスケットボール新人大会

男子準決勝

試合日:2025年2月16日(日)
会場:四日市市総合体育館
コート:C2
開始時間:11:40~

Team A		Team B
美濃加茂 (岐阜)	55	93 藤枝明誠 (静岡)
	12 - 30	
	23 - 27	
	8 - 19	
	12 - 17	
	OT	

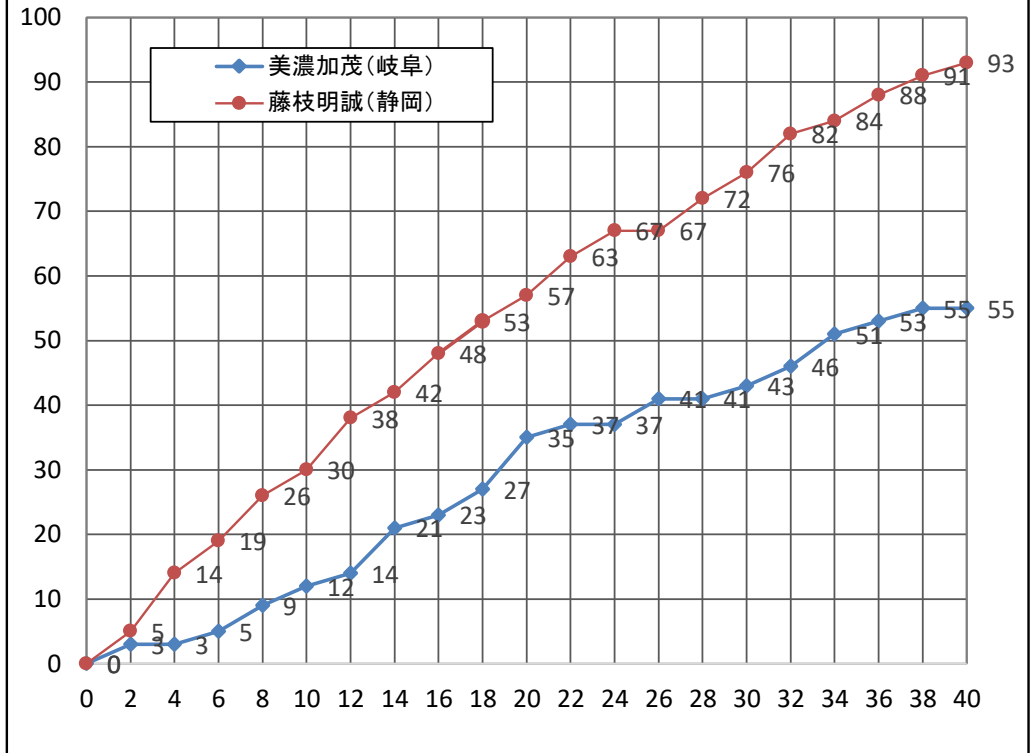
Team A: 美濃加茂(岐阜)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4	*	鈴木 陸音	14	1	5	1	4								
5	*	浅野 柚馬	3	1											
6	*	アブドラ ムハマド	15		7	1	1								
7		大城 執逢	5		2	1	1								
8		奥村 輝己	2			2	1								
9	*	羽田野 夏向	5	1	1										
10		上村 龍空	0				1								
11		福田 悠朔	2		1										
12		源古 隆也													
13		山崎 瑛太													
14		澁谷 飛和	0				1								
15		小川 和希													
16	*	川崎 夏樹	6		3		3								
17		藤田 晴也	3	1			4								
18		籠橋 蒼佑													
Team/Coach:															
合計			55	4	19	5	16	0	0	0	0	0	0	0	

Team B: 藤枝明誠(静岡)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
5		戸田 湧大	4		1	2	2								
7		長谷川 陽大	2		1										
10		久保田 直柔	0				2								
12		永田 貴陸	3	1											
13	*	渡邊 聖	12	3	1	1	1								
14		福間 聖也	11	1	4		1								
19	*	野津 洸創	10	1	3	1	2								
21	*	高平 爽太	4		1	2									
24		工藤 蒼空													
31		金子 來樹	1			1									
35		柴田 陽	11		4	3									
39	*	篠原 遼太	4		2		2								
44	*	アマー エマニエル チネメルン	11	1	4		2								
47		高松 悠季	10		5										
77		徳田 翔太	10		4	2									
Team/Coach:															
合計			93	7	30	12	12	0	0	0	0	0	0	0	

2分ごとの得点推移



【戦評】

記入者 西村 一真

両チーム共にマンツーマンディフェンスで試合開始。美濃加茂は、藤枝明誠の堅いディフェンスを前になかなか良いシュートを打たせてもらえない。藤枝明誠は、#13,#19が中、外と精度高いシュートを立て続けに決め、3-11のランで美濃加茂はタイムアウト。しかし、タイムアウト後も#13,#19を中心に他選手も得点を重ねた。美濃加茂は#4を中心に奮闘するも、12-30と藤枝明誠が大きくリードし1Q終了。

2Q、藤枝明誠は#44以外ベンチメンバーがコートに立つが、流れそのままで#14,#35を中心に得点を重ねる。美濃加茂も、#16を中心に鋭いドライブが増え食い下がり、35-57で前半終了。

3Q、両チームともに固いでディフェンスを見せ、お互いオフェンスではターンオーバーが多くなる。しかし、藤枝明誠は#44のインサイドでの得点やチームでオフェンスリバウンドを何度も取り得点を重ね、美濃加茂の#4,#16のドライブなどの粘るも43-76とリードを広げ3Q終了。

4Q、美濃加茂は最後まで#4,#7がドライブで応戦するも、総力厚い藤枝明誠が55-93で逃げ切り決勝進出を決めた。

CC 箱崎 敬知

U1 米山 隆仁

U2 河合 拓治